



真下慶治生誕100年記念

最上川を描き続けた真下慶治とその家族
母なる河 最上川Ⅱ

平成26年9月5日(金)～11月16日(日)



酒田市松山文化伝承館

〒999-6832 酒田市字新屋敷36-2

TEL 0234-62-2632 / FAX 0234-62-2638

E-mail densho@city.sakata.lg.jp

入館料 / 一般360円、高校・大学生250円、小中学生100円

団体割引有り、小中学生は土日無料、年間会員券1,850円(同伴者2名まで入館できます)

開館時間 / 午前9時～午後4時30分 休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌日)

開催にあたって

戸沢村出身の画家・真下慶治は、今年生誕100年になります。画家人生を最上川に捧げた彼は、上流から下流まで県内各地で絵を描き続けました。晩年には松山にアトリエを建て、下流から河口の風景を描く際の拠点としました。

今回の展示では画伯の作品はもとより家族との懐かしい写真、娘と妻を描いた絵、医者であった父が使用していた医薬品、出版された画集、過去の展覧会の図録等の紹介を通して、人間・真下慶治の生涯を振り返ります。

経 歴

- 1914 大正3 3月 戸沢村津谷に医師 真下元雄・母 キンの次男として生まれる
- 1931 昭和3 新莊中学(新庄北高)卒業
文化学院美術部入学 石井柏亭・有島生馬の指導を受ける
- 1934 6 文化学院卒 二科研究所に入る
- 1937 9 第1回一水会「船川港」「港風物B」入選
- 1940 15 紀元二千六百年奉祝美術展「雪最上川」イタリヤ政府買上
- 1943 18 関司文子と結婚
- 1945 20 1月 長男誕生
- 1946 21 第1回日展「最上川冬景」特選文部省買上
第2回日展「雪景」特選
- 1949 24 最上川と鮭川の合流点河畔に仮画室を建てる
- 1950 25 9月 母キン死去 10月 長女誕生
- 1956 31 山形市小白川に新居とアトリエを建て転居
- 1958 33 第4回茂吉文化賞受賞
- 1957 42 第10回新日展「最上川裏」菊花賞受賞
- 1968 43 山形大学教授となる
9月 父元雄死去 10月 妻文子死去
- 1971 46 日展 審査員(以後3回 審査員)
山形県村山市大淀にアトリエを建てる
- 1978 53 大淀アトリエ増築
庄司清美と結婚
- 1986 61 日展 評議員となる
- 1988 63 山形県飽海郡松山町にアトリエを建てる
一水会 常任委員となる
- 1992 平成4 第7回小山敬三美術賞受賞
- 1993 5 9月 79歳 逝去 第55回一水会「冬の河畔」絶筆



津谷の自宅兼診療所前での家族写真(1924年)



『母と娘』(個人蔵)



文化学院時代



医者であった父が使用していた医薬品



愛用の取材用カメラ

伝承館イベント情報

ギャラリートーク

日 時：10月4日(土) 午後1時30分～
場 所：松山文化伝承館 企画展示室内
講 師：真下清美氏(真下慶治記念館館長)
定 員：50名(先着順)
参加費：無料(入館料が別途必要です)
申 込：お電話でお申込み下さい。
TEL 0234-62-2632
9月17日(水)より開始

呈茶

翠松庵 9月21日(日)
// 10月19日(日)

時間 10時～15時
茶券 300円

甲冑着付け体験

11月1日(土)～3日(月)
時間 10時～15時
親子で、カップルで、友達同士で
武士になってみませんか。

